

美濃加茂市 市民企画講座 講師 募集

令和8年度前期募集要項

市民企画講座とは？

自らの経験や技術、知識を地域に生かし、地域の皆さんの生涯学習活動を応援していただくとともに、学びの輪を地域に広げる活動です。企画いただきました講座は、美濃加茂定住自立圏応援生涯学習誌『学びのとびら』と『学びのとびらホームページ』に掲載し、多くの方の新しい学びのきっかけとしていただきます。

運営の主体

市民企画講座は、市民の自発的な生涯学習活動を支援するものです。講座の主催者は、講師自身となります。会場の基本的な準備や講座内の司会進行は、講師で行っていただきます。

開講スケジュール

講師 募集	募集期間：令和7年11月1日～11月28日17時 受付方法：オンラインまたは美濃加茂市市民企画講座申請書
審査 及び 決定	申込み内容をもとに12月中旬決定 ※応募多数の場合は、初めての方を優先し、他は抽選といたします。
受講生 募集	令和8年3月中旬から各講座開始の1週間前まで（予定） ※講座開講には原則5人以上の受講生が必要です。（5人未満相談可能）
講座 開始	開講期間： 令和8年4月下旬～令和8年9月末（最大10回まで）

オンラインの場合下記 QR コードからお申し込みください



お問合せ先

〒505-0041 美濃加茂市太田町 3425-1（美濃加茂市生涯学習センター）
美濃加茂市市民協働部 ひとづくり課市民活躍推進係
TEL 0574-25-4141（直通）
MAIL manabi-c@city.minokamo.lg.jp

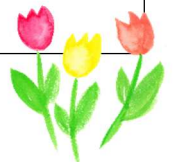
市民からの声

「こんな講座あったらいいな」
土・日 開催

- ・水彩画 ・語学 ・マッサージ
- ・子どもと一緒にできること ・裁縫
- ・レジン、ハーバリウム工作 ・料理
- ・コーヒーの淹れ方 ・生花 ・刺繍
- ・パソコン講座 ・健康運動 etc…

市民企画講座募集要項

応募資格	満18歳以上の個人 ※市内在住在勤不問						
募集数	40講座程度（講師お一人につき1講座） ※応募多数の場合：①初めての講師を優先 ②残りの講座を抽選にて選出						
募集講座	・自身の知識や技術、趣味を活かしたものであること ※教養・文化芸術・健康・レクリエーションなど ※器械体操や激しいスポーツ、野外活動は対象外 ・初めての方を想定した講座であること 【ただし、以下に該当する講座は実施できません】 ① 施設又は付属設備を汚したり破損したりする恐れのあるもの ② 講座の内容が公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反するもの ③ 特定の物品の販売及びあっせん、特定の企業等の利益に資する活動など、営利活動を目的とするもの及び、これらと類するもの ④ 特定の政党の利益に資する活動等、政治活動を目的とするもの ⑤ 特定の宗教の宣伝、布教及び支持を目的とするもの ⑥ ①～⑤以外で、市民を対象とする講座として望ましくないもの						
開講期間	令和8年4月下旬～令和8年9月末						
時間	1回の講座で1時間～2時間程度とし、次のいずれかの時間帯のなかで設定する。 <table border="1"> <tr> <td>① 午前の講座</td><td>9:30～12:00</td></tr> <tr> <td>② 午後の講座</td><td>13:30～16:30</td></tr> <tr> <td>③ 夜間の講座</td><td>18:00～21:30</td></tr> </table>	① 午前の講座	9:30～12:00	② 午後の講座	13:30～16:30	③ 夜間の講座	18:00～21:30
① 午前の講座	9:30～12:00						
② 午後の講座	13:30～16:30						
③ 夜間の講座	18:00～21:30						
回数	2回 ～ 10回 （1回のみの講座を希望される方はご相談ください）						
受講料	原則 一人500円×回数 講座初日に受講者がひとづくり課にお支払いいただきます。						
講師謝礼 材料費	【講師謝礼】 ・講座1回あたり：講座参加者数×各回受講料（最大5,000円）（源泉徴収あり） ・支払いは月ごとにまとめ、翌月に指定口座へ振込みます。 【材料費】 ・開講初日に、受講者が直接講師に支払いをします。						



会場と定員	美濃加茂市生涯学習センター			
	部屋の種類	講座定員	設備	備考
	研修室	20名以下	机 15 椅子 30	土足
	学習室	10名以下	机 9 椅子 12	土足
	視聴覚室	15名以下	机 10 椅子 20	土足、楽器の使用可
	和室	12名以下	座卓・座椅子あり	親子講座の場合、10組まで
	技術学習室	10名以下	机 9 椅子 12 水場付き	土足
	調理室	12名以下	調理台 6 台	各調理台 2 名の利用を想定
	美濃加茂市文化会館			
	部屋の種類	講座定員	設備	備考
	練習室	15名以下		土足
	和室	15名以下	座卓・座椅子あり	親子講座の場合、10組まで
	展示室	20名以下	鏡あり	土足
	美濃加茂市牧野交流センター			
	部屋の種類	講座定員	設備	備考
	集会室	100名以下	椅子 100	土足
	会議室（和室）	15名以下	座卓あり	親子講座の場合、10組まで
	研修室	15名以下	机 30 椅子	土足
	※講座定員は、各施設の利用定員とは異なります。			
	※各施設に更衣室、託児所はありません。			
衛生対策について	【マスクの着用について】 講座内でのマスク着用（講師・受講生）について、個人の思いや状況を尊重して着脱を判断いただけます。 なお、調理実習の時間は例外とし、マスク着用を必須とします。出来上がったものを講座内で召し上がっていただくことは可能です。			
講座運営	【開講前・準備】 ・講座の企画と進行、教材の準備（コピー含む）は、講師が行います。 ・受講生募集と受付は市が行います。 ・原則5人以上の申し込みがあった講座が開講できます。（5人未満の場合でもご相談いただけます。） ・講師謝礼をお支払いするため、事前にマイナンバーやお振込み口座の登録をいたしますので、提出にご協力ください。 【開講】 ・開始30分前までには部屋を開け、講座の準備をお願いします。 ・部屋の鍵の取り扱いは必ず講師が行ってください。 ・受講生の出欠は、各講師に管理していただきます。 【講座終了後】 ・会場の準備、片づけは受講生と協力して行ってください。 ・各回終了後に「報告書」の記入をお願いしております。			

開講決定後
改めてご案内します

申請について

1 講座情報（生涯学習情報誌、ホームページなどで公開する情報）

① 講座名 (タイトル)	初めての囲碁										
② 講師名 (20字以内)	かも太 (雅号・資格記載可)										
③ 講座内容 紹介文 (80字以内)	囲碁の基本的なルールと専門用語を学びましょう。 練習問題から始めて対局にも挑戦しましょう。 年齢を問わない知的ゲームを楽しみましょう！										
④ 対象者	1 どなたでも 2 その他 ()					⑤ 定員	10 人				
⑥ 受講料	1 回 500円 ・左記以外るとき 円					⑦ 材料費	(全回分) 0 円				
⑧ 持ち物	なし ・ () (ヨガマットもしくはバスタオル・飲み物)										
⑨ こどもの関係	() 可 ・ 不可 ・ 条件付きで可 (条件:)										

⑩ 日にちの希望 (10回以内) ※開催可能期間：10月10日～3月20日										
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
希望時期 第1希望	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	/	/
第2希望	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	/	/
⑪ 時間と曜日の希望	(土) 曜日 午前・午後10時00分～ 午前・午後12時00分									
⑫ 会場 (1か所○)	生涯学習センター ・ 文化会館 ・ 牧野交流センター									
	研修室 (20人以内)	学習室 (10人以内)	視聴覚室 (15人以内)	技術学習室 (10人以内)	和室	その他 ()				
⑬ 備品 (希望あれば)	延長コード 個 ・ ホワイトボード (ペン) ・ プロジェクター・スクリーン そのほか ()									

3 講座計画書

回数	テーマ・目標 など	回数	テーマ・目標 など
1	碁石の動かし方	6	練習問題・対局のルール
2	自分の石と相手の石の関係について	7	対局ルールのおさらい 対局
3	陣地のつくりかた 1	8	対局
4	陣地のつくりかた 2	9	
5	練習問題	10	

①講座名 ②講師名

③講座内容紹介文

読んだ人が受講したくなるかを決める一番のポイントになります。字数内で講座の特徴が伝わるよう工夫してください。

⑤定員

募集要項に記載のある講座定員を超えないようご注意ください。

⑩日にちの希望

⑪時間と曜日の希望

『毎週水曜日』や『第1・第3火曜日』などなるべく固定してください。受講者の予定が立てやすくなります。

⑬備品

必要な備品等は、原則講師で用意していただきますが、施設で所有する備品を希望する場合はご用意いたします。その場合の運搬、設置等は講師でお願いします。

【裏面】

予定開催数に合わせた講座計画を記入してください。

講座開講のポイント

① 受講対象を設定する

講座を企画する際には、対象（年齢、難易度など）をイメージして企画しましょう。
開催時期、時間も参加対象者に合わせて設定しましょう。

② 講座の名称

講座名は、参加したくなるよう以下のポイントに留意しましょう。

- 1) 親近性
分かりやすい単語での講座名
- 2) 具体性
講座名だけで何をやるかが分かるもの
- 3) メリット
良い点が具体的に見えるもの

③ 講座の目標をつくる

参加者を主軸にして、「何のためにこの講座を実施するのか」を明確にしましょう。

④ 学習の流れ

講座の組み立ては以下の流れを意識しましょう。

- 1) 導入
興味や意欲を引き出す導入・参加者同士の交流
- 2) 展開
講座の本筋
- 3) まとめ
理解を深める振り返り、理解を広げる共有